

遊んで、遊び心!!



芝生の柔らかさは、
人に本当に優しいんです。
微笑ましい光景が
嬉しいですね!!

IPGA NEWS 72



INTERNATIONAL PARK GOLF ASSOCIATION

(NPO)国際パークゴルフ協会 北海道中川郡幕別町宝町53番地1
☎(0155)54-2260・☎54-2204

2007. 11. 1 発行



パークゴルフ場の
メンテナンス(休み)日を
園児たちに開放!!



奈良ニッタの森PG場(大和郡山市)にて



広い芝生にのびのびと、可愛い仕草で遊びまわってます。

— パークゴルフ場が身近な遊び場に —

第13回 JALカップ 全日本パークゴルフ選手権大会



2007. 9. 8~9 北海道網走支庁管内・紋別市たきのうえ&滝上町
紋別市PG場&ウッドパークPG場



滝上町ウッドパークPG場▶



紋別市PG場



雨の中での開会式

予選を勝ち抜いた638人が
頂点を目指した!!

第1日目の結果(36H)

〔男子の部〕			
順位	氏名	スコア	
1	小萩原 惠史	98	二之
1	小萩原 惠史	98	文
1	赤谷 谷田	98	弘
4	藤内 幸男	99	彦
4	竹山 智哲	99	二誠
6	山本 田宅	100	三
6	吉新 及	101	一
8	鈴平 小志	101	二
8	鈴平 小志	101	三
8	小志 西丸	101	則昭
8	小志 西丸	101	博
13	志西 千丸	102	雄光
13	志西 千丸	102	隆
13	志西 千丸	102	一
16	丸井 佐々	103	惠清
16	丸井 佐々	103	幸吉
16	丸井 佐々	103	一
16	丸井 佐々	103	純龍
16	丸井 佐々	103	義敬
16	丸井 佐々	103	一夫
16	丸井 佐々	103	敏進
16	丸井 佐々	103	康夫
16	丸井 佐々	103	亨
16	丸井 佐々	103	雄
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	
24	藤小 藤原	104	

〔女子の部〕			
順位	氏名	スコア	
1	吉田 真知子	104	
2	吉田 真知子	107	
3	阿久保 芳三	110	
4	阿久保 芳三	111	
4	阿久保 芳三	111	
6	阿久保 芳三	112	
7	阿久保 芳三	113	
7	阿久保 芳三	113	
9	阿久保 芳三	114	
9	阿久保 芳三	114	
9	阿久保 芳三	114	
9	阿久保 芳三	114	
14	阿久保 芳三	115	
14	阿久保 芳三	115	
14	阿久保 芳三	115	
14	阿久保 芳三	115	
14	阿久保 芳三	115	
14	阿久保 芳三	115	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	
20	阿久保 芳三	116	

紋別市PG場、滝上町ウッドパークPG場共に距離も長く、障害物もある飛距離と方向性を要求される難しいコースであるが、男子は萩選手、女子は吉田選手が初日のリードを守り優勝された。萩選手は11年ぶり2度目の勝利で実力を充分発揮し、安定したショットを披露してくれた。決して上げボールで無く、力の抜けた自然体から飛距離と方向性を重視したストロークはギヤラリーの皆さんに参考になったものと思う。準優勝は赤谷小柏、佐々木、竹内の4選手によるプレーオフで赤谷さんが勝ち、以下はカウントバック方式により順位が決まった。

一方、吉田選手は大会初日のリードを守りきった形であるが、前日7打差の大久保選手に同スコアまで追い詰められはしたが、リードは許さず勝負処のA-8ホールで強気のショットで再びリードを奪いそのままホールアウトした。ホールアウト後ギヤラリーから熱戦に対する暖かい拍手が起こり両選手共に感動したのもと思われる。最後に滝上町、紋別市の協会役員、コース管理に携われた皆さんには、かんなつ気味の天候であった今年の夏、芝の管理に御尽力いただき最高のコースコンディションを提供していただいた事に心からの感謝をしたい。

実力者の
萩 史之
吉田真知子
両選手に栄冠!!

第13回全日本選手権大会 総合成績・72H

〔男子の部〕

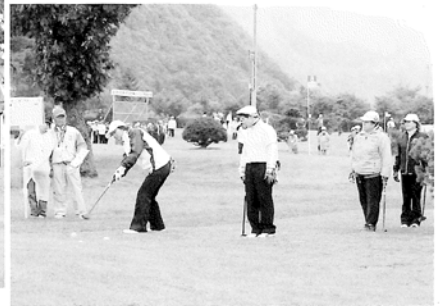
順位	氏名	市町村名	スコア
優勝	萩 史之	帯広市	199
準優勝	赤谷 良文	別府市	206
3	小柏 忠博	別府市	206
4	佐々木 清富	良野市	206
5	竹内 幸男	別海町	206
6	室谷 明雄	清水町	207
7	平 紀昭	釧路市	207
8	伊吉 勝夫	上士幌町	207
9	吉田 誠二	紋別市	207
10	新宅 義光	稚内市	209
11	西下 藤勝	一府市	210
12	後藤 和正	夫帯広市	211
13	横森 正義	上幌別町	211
14	佐田 藤嶋	旭川市	211
15	千種 昌隆	岩見沢市	211
16	太志 賀伯	清見町	212
17	志賀 惠二	鹿追町	212
18	小原 義宗	北見市	212
19	鈴木 司	網走市	213
20	藤原 山田	札幌市	213
21	庄石 岡部	康吉町	213
22	吉松 久昌	上富良野町	213
23	服部 坂	千歳市	214
24	小渡 田	北広島市	214
25	山原 敬龍	一帯広市	214
26	藤原 敏	帯広市	214
27	今井 上	弟別町	215
28	井上 関	弟別町	215
29	岩崎 紉	上士幌町	215

〔女子の部〕

順位	氏名	市町村名	スコア
優勝	吉田 真知子	帯広市	217
準優勝	大久保 ミヨ子	訓子府町	218
3	佐々木 トミ子	士幌町	221
4	坂下 博信子	帯広市	222
5	牧野 登子	別府市	222
6	田中 真佐子	紋別市	222
7	亀田 友江子	上湧別町	223
8	福田 昌子	雄武町	223
9	泉 節子	札幌市	225
10	高橋 律子	帯広市	227
11	小林 スエ子	清水町	227
12	堀内 久紀子	帯広市	227
13	萩原 美子	帯広市	228
14	萩竹 末子	岩見沢市	228
15	阿部 芳子	栗山町	228
16	桑田 秀子	上富良野町	229
17	本郷 キミ子	帯広市	229
18	小崎 とよ子	別海町	230
19	馬場 幸子	釧路市	230
20	山本 妙子	岩見沢市	230
21	眞鍋 希子	帯広市	230
22	清尾 ミナ子	別海町	230
23	渡辺 留美子	士幌市	230



打球の行方を多くのギャラリーが追う



一打に集中して

次回大会の開催地は、北海道苫小牧市に決定



いざ、カップインへ

●全道でテレビ放映(UHB)
この大会の熱戦の様子が特別番組(50分)として9月24日に全道放映されました。

熱戦!
スナップ



交流会の様子



女子入賞者



男子入賞者

大会優勝者

●表彰式にて●



■女子の部 優勝 吉田真知子さん(帯広市)

優勝できるとは思っていなかったの、本当にうれしい。
大会初日のウッドパークゴルフ場がロングコースだったので、自分に合っていたのが良かったと思います。
今後も友達と仲良く楽しいパークゴルフをして行く事が私の目標です。

■男子の部 優勝

萩 史之さん(帯広市)

第2回大会優勝からもう11年が経っていました。この間にもいっぱいチャンスがありました。なかなか「優勝＝日本一」という文字にたどりつけなかった事。失格問題もあり、PGプレーヤーからの重圧「今度は史の番だね」とか本当に辛かったです。今回の優勝で何かがフツ飛んだ気がします。最終アテストする間の道のりでPGプレーヤーの皆さんの握手の嵐がもの凄く嬉しかったです。ありがとうございます。
勝因は自分のプレーの姿を信じて、イメージし、コントロール重視でそして何よりも過去の全日本の思い出をすべて忘れ新しい気持ちでプレーをした事が自分にとってプラスになった事です。
今後も周りのプレーヤーと共に仲良く楽しくプレーをし、私の目標でもある日本全国に足を運べるプレーヤーになる事です。来年の苫小牧で皆さんとお会いする日まで!!



第20回 全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレクあおもり2007

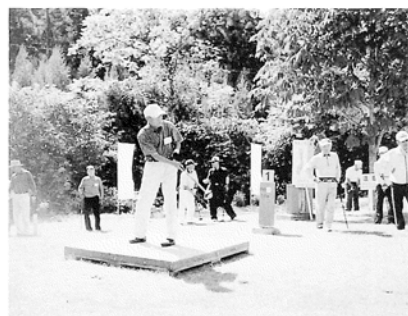
フリー参加種目

パークゴルフ大会

平成19年9月23日(日)・24日(月)
八甲田パノラマパークゴルフ場



「熱くなれ、みんな輪になれ、りんごの国で」をスローガンに9月22日から25日までの4日間にわたり、青森県内16市町村を会場地として第20回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクあおもり2007」が開催されフリー参加種目の一つとして「パークゴルフ大会」が十和田市の八甲田パノラマパークゴルフ場において、2日間にわたり実施され、全国から総勢240名が参加し、晴天の秋空の下で日頃の技を競うとともに親睦を深めていました。



緑に囲まれナイスショット



始球式

順位	優勝	準優勝	3	4	5	6	7	8	9	10	スコア										
【男子の部】	沢内 勝博 (七戸町)	195	伊藤 亮 (青森市)	199	田畑 勝 (三戸町)	199	中堤 一男 (十和田市)	199	向中野忠男 (十和田市)	200	中野渡 強 (十和田市)	200	石川 春夫 (八戸市)	201	白戸 義雄 (岩手県盛岡市)	202	日影 茂雄 (岩手県軽米町)	205	折戸 祐一 (十和田市)	205	
	72H																				
	優勝	沢内富美子 (七戸町)	206	保岡 良子 (三戸町)	215	唘 文子 (七戸町)	215	高橋 泉 (岩手県洋野町)	216	大久保紀子 (十和田市)	221	伏部内みどり (八戸市)	222	松橋 美星 (階上町)	223	諏訪 弘子 (三戸町)	225	北向 幹子 (おいらせ町)	226	小笠原洋子 (十和田市)	226

【男子の部】			【女子の部】		
順位	スコア	36H	順位	スコア	スコア
優勝	安部 栄一 (山形県川西町)	105	優勝	吉満くに子 (山形県天童市)	116
準優勝	新田 耕一 (宮城県大崎市)	106	準優勝	伏部内みどり (青森県八戸市)	117
3	遠藤 一男 (福島県喜多方市)	108	3	田邊 和子 (宮城県大衡村)	120
4	早川 八二 (山形県長井市)	108	4	小笠原則子 (青森県青森市)	120
5	高橋 吉晴 (山形県長井市)	109	5	稲葉 昌子 (福島県相馬市)	121
6	梅津 宏 (山形県白鷹町)	109	6	二瓶 ちよ (山形県飯豊町)	121
7	高橋 市郎 (秋田県由利本荘市)	110	7	安倍ひでみ (秋田県由利本荘市)	121
8	中村 尚 (秋田県由利本荘市)	110	8	青木 慶子 (山形県米沢市)	122
9	照井清次郎 (山形県白鷹町)	112	9	水戸部敬子 (山形県天童市)	122
10	井上 克夫 (山形県飯豊町)	112	10	梅津トシ子 (山形県白鷹町)	122

台風9号一過、素晴らしい秋空のもと山形県飯豊町の飯豊連峰山麓の白川湖湖畔公園にあります「白川湖パークゴルフ場」において東北連盟共催による第12回パークゴルフ東北交流大会が去る9月8、9日の両日開催されました。8日に開催された交流会は様々な趣向がなされ、特に山形ならではの名物「いも煮」は絶品で、アトラクションも素晴らしく参加者全員が歓喜の渦のなかにありました。堀江敏正東北連盟理事長から、来年の第13回開催地である宮城県大衡村、萩原村議会議長に次期開催決定書が手渡されムードは最高潮に達しました。

9日は絶好のコンディションの中、東北チャンピオンを決める大会に相応しく精鋭が競い、東北全体のレベルアップに大いに貢献したものと感ずる大会となりました。総じて感じたことは地元飯豊町の町長様始め、全体で「ようこそ、飯豊町」歓迎感が伝わって来た山形県開催でした。東北が一丸となって燃えておりました。関係者の皆様本当にご苦労様でした。そして本当にありがとうございました。

東北PG連盟 牧野昭一事務局長より

第12回 パークゴルフ 東北交流大会

9/8・9 (山形県飯豊町・白川湖PG場 233人)



本部前にて競技委員の紹介



参加者は歓喜の渦に



▲もみじコース

◀表彰式

10/7・8

第6回 ミズノカップ全国パークゴルフ選手権大会

<富山県射水市・小杉パークゴルフクラブ 218人>

初日晴天・2日目雨天のコンディションの中、熱戦!!

第6回を迎えた今大会は、北は北海道をはじめ南は広島県から出場、2日間にわたって熱戦を繰り広げた。初日、2日目と天候が大きく変動し、多くの選手がスコアをくずし順位が入れ替わった中、男子は福岡正吉さんが優勝、女子は大坪優美さんが連覇を飾った。



◀開会式の様子(写真2枚)

順位	優勝	準優勝	3	4	5	6	7	8	9	10	スコア																			
	福岡 正吉 (富山市)	220	竹山 公将 (氷見市)	222	小寺 昌一 (富山市)	222	河東 清修 (小松市)	222	梶谷 幸一 (射水市)	224	山崎 輝一 (富山市)	225	橋高 浩 (白山市)	225	佐藤 茂 (白山市)	226	小川 俊保 (千葉県松戸市)	227	大友 一男 (富山市)	228										
72H	優勝	大坪 優美 (射水市)	224	準優勝	井戸美千代 (射水市)	235	3	阿部 房子 (北海道道央)	240	4	安田 敏子 (射水市)	245	5	本江まち子 (射水市)	245	6	水野ふさ子 (滑川市)	246	7	山本由紀子 (射水市)	247	8	中島 幸子 (千葉県船橋市)	249	9	佐野 慶子 (氷見市)	250	10	松本 昌代 (射水市)	252

第1回 全国パークゴルフ選手権大会

『KAGOBO CUP』

10/13・14 <宮城県大崎市・加護坊PG場 170人>

『聖地』の秋に新たな伝説が...

コースに植えられた金木犀が香る、爽やかな秋晴れに恵まれた10月13、14日の両日、『腕に自信あり』のプレイヤーが全国から『聖地』に集い全国パークゴルフ選手権大会、第1回『KAGOBO CUP』が開催されました。54ホール、2日間の大会は『腕に自信あり』の選手も普段の交流大会とは全く雰囲気の違い、真剣、勝負に拘った大会となりました。

春の『さくらカップ』、秋の『KAGOBO CUP』全国大会の2大タイトルの開催に相応しく整備されたコースは勿論、大駐車場の完成、そして幹線道路からの連絡道路も大型バスが交差できるように現在整備が進んでいます。まさに『聖地』は進化しております

今大会、男女優勝者には優勝ジャケット、副賞は大崎市が誇る鳴子温泉郷『琢瑠』の特別室宿泊券をペアで、また入賞者には旅行券、シューズ等が授与され、次回の招待選手とされました。

来年の参加と健闘を誓い、もう宿泊の手配をする遠方の選手もありました。来年また『聖地』でお会いしましょう。

「KAGOBO CUP」大会実行委員会 佐々木勝男さんより

〔男子の部〕				108H	〔女子の部〕																									
順位	優勝	準優勝	3	4	5	6	7	8	9	10	スコア																			
	青木 正芳 (美里町)	304	荒川 勝弘 (美里町)	305	3	新田 耕一 (大崎市)	305	4	大立目正記 (石巻市)	307	5	山口 恵三 (東松島市)	312	6	渡辺 敏昭 (大崎市)	313	7	久保 純雄 (大崎市)	313	8	佐々木政志 (大崎市)	313	9	岩淵 三郎 (大崎市)	314	10	佐藤 孝宣 (美里町)	314		
	優勝	中村つた子 (美里町)	313	準優勝	佐藤 和枝 (蒲谷町)	322	3	佐々木ユリ子 (美里町)	324	4	小野寺つめの (大崎市)	325	5	佐藤あや子 (東松島市)	325	6	高橋 泉 (岩手県洋野町)	326	7	渡辺 幸枝 (大崎市)	326	8	伏部内みどり (青森県八戸市)	330	9	小野寺トシ子 (大崎市)	330	10	遠藤あき子 (美里町)	331



表彰式にて、上位入賞者

〔男子の部〕				〔女子の部〕																										
順位	優勝	準優勝	3	4	5	6	7	8	9	10	スコア																			
	河原 英昭 (白老・胆振)	94	赤谷 良文 (登別・胆振)	95	3	森藤 淳 (登別・胆振)	95	4	佐藤 剛道 (登別・胆振)	95	5	大塚 俊雄 (登別・胆振)	96	6	松田 守 (森・道南)	96	7	新谷 勲 (浦河・日高)	97	8	落合 順一 (登別・胆振)	97	9	小濱昌次郎 (江別・石狩)	98	10	山本 智彦 (札幌)	98		
	優勝	野宮登代子 (室蘭・胆振)	107	準優勝	坂野 幾子 (北広島・石狩)	107	3	伊藤 富子 (登別・胆振)	108	4	船越 照子 (室蘭・胆振)	109	5	小林 正子 (江別・石狩)	110	6	関 信子 (浦河・日高)	110	7	松芳フミ子 (白老・胆振)	111	8	紙谷みちる (江別・石狩)	111	9	浦野 初恵 (小樽・後志)	111	10	清水 礼子 (登別・胆振)	111

大会には南は松前・八雲・森、道央からは札幌・石狩・江別・日高等の各連合会傘下の各協会から参加(参加連合会名:札幌・石狩・道央・空知・日高・後志・道南・胆振)。大会は前日からの雨も上がり、コースは完全に整備され各連合会選抜選手の熱い戦いとなった。男女ともレベルが高く、男子は94のハイスコアで優勝。女子は107の同スコアで2人でプレーオフの熱戦の結果、野宮登代子さんが優勝を勝ち取った。次期開催連合会の「石狩地区連合会 佐々木亨会長」の力強い挨拶で大会を締めくくった。

道内8連合会が一堂に集う



開会式に、選手がずらり



喜びの上位入賞者

9/16
 北海道登別市・白老町・登別温泉PGクラブ & 虎杖浜PGクラブ 303人
南北海道パークゴルフ大会 in 胆振大会

8/26

恒例のペア大会、今年も盛況

第3回 カップ北陸

〔石川県金沢市・奥卯辰山健民公園 特設PG場 223組 44人〕

猛暑の中の大会となったが、広々とした空間、所々の木陰で多少の涼が得られた。屋内の選手控え室やコース内の臨時看護所、ドリンク直売所が好評だった。競技役員の少数性に配慮して10人の委員で運営したが、順位決定も最終スコア提出後30分で発表でき好評、盛會に終了することができた。



大会長挨拶



「選手宣誓」白山市・長木夫妻▶

〔男女ペアの部〕

順位	スコア
優勝	鈴木 康夫・大坪 優美 (富山県) 106
準優勝	源司 実・源司キミ子 (石川県) 107
3	村島 弘武・川田 道子 (富山県) 107
4	泉 邦雄・泉 照美 (石川県) 107
5	渡辺 外次・渡辺 春枝 (石川県) 108
36H	

〔男男ペアの部〕

順位	スコア
優勝	上田 英男・河東 清修 (石川県) 101
準優勝	小助川 昇・泉 行雄 (石川県) 101
3	木村喜八朗・中川 外治 (石川県) 103
4	道下外喜男・高田 峰夫 (石川県) 104
5	中川 亮一・南 栄一郎 (石川県) 104

順位	スコア
優勝	坂野 亀芳 (後志) 91
準優勝	丸山 忠一 (道南) 93
3	福田 臣男 (オホーツク) 97
4	弘中 勝己 (恵庭市) 97
5	菊地 建三 (西胆振) 97
5	岡 輝雄 (中空知) 97
7	田村 常孝 (上川) 97
8	吉田 哲二 (十勝) 97
9	後藤 信 (上川) 98
9	奈良 敏勝 (札幌市西区) 98

36H

順位	スコア
優勝	小林 正子 (江別市) 96
準優勝	石垣美枝子 (札幌市豊平区) 97
3	笹川みさ子 (札幌市南区) 97
4	森川千代子 (札幌市南区) 98
5	佐藤 典子 (札幌市清田区) 98
6	橋本 友子 (道南) 99
7	龍頭 大子 (千歳市) 99
8	竹田 末子 (南空知) 99
9	工藤みき子 (東胆振) 100
10	長瀬てる江 (十勝) 101

〔女子の部〕



一打一打に選手たちの視線が集中



カップインに臨む



表彰式にて

予選を勝ち抜いた道内屈指の精鋭たちが集結!!

9/23

北海道知事杯 第10回 道新パークゴルフ全道大会

〔北海道千歳市・コトログクラブ 386人〕

第4回 全日本オープンパークゴルフ in さらべつ

〔北海道更別村・更別どんぐりPG場 211人〕

34市町村から参加

道内43市町村から集まった参加者211名が日頃の練習の成果を十分に発揮。男子の部は帯広市の山中昇さん、女子の部は大樹町の牧田治子さんが初優勝し、名誉の緑のブレザーに袖を通した。

〔男子の部〕

順位	スコア
優勝	山中 昇 (帯広市) 140
準優勝	小森 直樹 (音更町) 140
3	小原 恵二 (鹿追町) 142
4	川村 嘉市 (芽室町) 143
5	山崎 逸郎 (帯広市) 144
6	大塚 一正 (帯広市) 144
7	福田 臣男 (北見市) 144
8	渡辺 裕二 (帯広市) 144
9	新井 重美 (幕別町) 145
10	山岸 敏夫 (音更町) 145

〔女子の部〕

順位	スコア
優勝	牧田 治子 (大樹町) 152
準優勝	堀内由紀子 (帯広市) 153
3	長瀬てる江 (広尾町) 153
4	太田あけみ (帯広市) 155
5	坂本扶美子 (釧路町) 155
6	中山美智子 (帯広市) 155
7	小田中ユキ子 (中札内村) 156
8	山岸 花子 (音更町) 156
9	佐藤 留子 (釧路町) 157
10	谷保 厚子 (帯広市) 157

〔男子の部〕

順位	スコア
優勝	門脇 文雄 (三本木) 99
準優勝	伊藤 広雄 (加美) 103
3	吉田 計次 (加美) 103
4	佐々木清克 (古川) 103
5	遠藤 利文 (小牛田) 104
6	大場 国男 (小牛田) 104
7	野田 和宏 (八戸) 105
8	高橋 寅治 (加美) 105
9	青木 是司 (加美) 105
10	青木 正芳 (小牛田) 105

〔女子の部〕

順位	スコア
優勝	今野智歌子 (加美) 107
準優勝	大場みちる (加美) 109
3	佐藤 和枝 (涌谷) 111
4	鹿山恵美子 (東松島) 111
5	及川 公子 (東松島) 111
6	小山シゲ子 (奥州市水沢) 112
7	伏部内みどり (八戸) 112
8	大立目則子 (石巻市かなん) 113
9	佐々木ユリ子 (小牛田) 113
10	佐藤さえ子 (仙台・泉) 113

ふれあいカップ

8/26 「第5回 関東・東北PG交流大会」

〔宮城県加美町・ふれあいの森公園PG場 290人〕

関東・東北各県から集う

天候に恵まれ、各地から集った選手たちは和気あいあいの中にも熱戦を展開し、交流を深めた。

各地の 大会結果

▼第8回広島県PG協会 会連合会親善大会

- 9月21日
- 県立みよし公園PG場・36H
- 149人
- 【男子の部】①山田庄治(三次市)91 ②高田雄純(三次市)93 ③宮本康之(三次市)95
- 【女子の部】①掛森玲子(三次市)94 ②伊藤美智子(三次市)97 ③長谷マシミ(三次市)101



会長を囲んで喜びの入賞者



選手宣誓をする前回優勝者

○：暑かったこの夏、暦のうえでは秋というのにPG場の周辺は山々はその兆しも見えない。当日の気温も31℃を超える真夏

並みの強い日差しの中、盛大に大会が開催されました。場内に立てられた「バックキー君」の応援に、プレーヤーは暑さなどフツ飛ばす元気いっぱいでの熱戦、男女とも地元会員が活躍した大会となりました。

▼第12回しいがしカツ ブ大会

- 9月15日
- 開成水辺スポーツ公園
- パークゴルフ場・36H
- 249人



女子の部 入賞者



男子の部 入賞者

- 【男子の部】①神山明(秦野市)92 ②小宮薫(開成町)100 ③加藤重(中井町)102
- 【女子の部】①中島幸子(千葉県船橋市)105 ②大野和子(海老名

▼第2回埼玉県パーク ゴルフ大会

- 9月14日
- サイボクパークゴルフ場・36H
- 151人
- 【男子の部】①川原一剛(川越市)102 ②雨宮武久(日高市)102 ③坂本良一(日高市)103
- 【女子の部】①小松佐依子(毛呂山町)109 ②山崎勝代(日高市)109 ③伊藤八重子(日高市)110

市)107 ③吉永安子(千葉県船橋市)109

○：大会当日は秋晴れの下、熱戦が繰り広げられ、男女ともプレーオフで優勝者が決まりました。本年は大会も2回目というところ



女子プレーオフで緊張の第1打



喜びの男女上位入賞者の皆さん

もあり、大会運営もスムーズに運び、盛況のうちに終了することができました。

福島県初の全国大会を開催!!

IPGA公認 2008

相馬松川浦カップ全国PG選手権大会

主催/相馬市・相馬市教育委員会
共催/(NPO)国際PG協会・福島PG協会連合会

- 期 日 平成20年1月19日(土)～20日(日) 雨天決行
- 会 場 相馬光陽パークゴルフ場
- 競技方法 54ホールストロークプレー
(1日目27ホール・2日目27ホール)
- 表 彰 男女別に優勝から3位まで賞状とトロフィー、賞品授与、4位から10位、ホールインワン賞等の特別賞
※相馬市の特産品が当のお楽しみ抽選会有
- 参加資格 18歳以上の全国のパークゴルフ愛好者
- 参加料 1人3,000円(2日間の昼食代・プレー代含む)
- 締 切 日 平成20年1月10日(木)
- 参加人員 280名(定員になり次第締め切ります)

《申込方法等その他詳細については、下記の大会事務局まで》
大会事務局/〒976-8601 福島県相馬市中村字大手先13
相馬市教育委員会スポーツ振興課
TEL 0244-37-2278 FAX 0244-37-2617

● IPGA事務局からのお願い ●

— 後援(名義使用)申請について —

『大会等の事業に(NPO)国際パークゴルフ協会の後援を
希望する場合は、必ず申請をし、後援の承諾が必要です』

最近、国際協会の後援承諾を得ていない大会に、「後援(NPO)国際パークゴルフ協会」と載っている大会が見受けられます。名義後援であっても、必ず後援依頼(書面にて)を提出し承諾を得てください。毎年開かれている大会で一度に後援承諾を得た場合でも、その都度、承諾が必要です。

*申請には、その事業の開催要項等の書類を添付して下さい。詳しくは、IPGA事務局総務広報部までお問い合わせください。



71号より、北海道新聞に掲載された前原理事長の「私のなかの歴史 パークゴルフ25年①〜⑫」を6回にわたり連載いたしております。

第2回
連載③④

私のなかの歴史

パークゴルフ25年 ③

パークゴルフは当初、原型となった鳥取県生まれの「クラウンドゴルフ」の名称のまま幕別町内に普及させていたのですが、土のコートではなく芝生を使うなど実際はゴルフに近い形式だったため、独自の道具の開発とルールづくりが急務でした。

最初に使用していたクラウンドゴルフのスティック（クラブ）とボールは木製だったため、強度が足りずよく破損しました。スティックのヘッド材はイタヤの単板だったので強く打つと打球面がはがれたり、ボールも一部表面が欠けたりしました。そこでパークゴルフを考案した一九八三年の秋ごろ、ゴルフのヘッド材を手がけていた地元の新田ベニヤ工業（現ニツタクス）十勝工場に、スティックとボールの開発を依頼しました。

は苦労したようで、完成まで三年以上かかりました。六回の試作を重ねた末、スティックとボールは産産方パ材を使った合板を採用し、八七年に商品化されました。これによりスティックの耐久性や打球の飛距離がぐんと向上しました。ただ、ボールはそれでも強度が足りず、後に樹脂製に変更してもらいました。塩化ビニール管を使っていたホールカップも地元の小野鉄工場に発注し、鉄製の底のあるカップにしました。

ルール制定

八六年には、この新スポーツの普及などのため町役場内に設置した「振興会議」のメンバーから、「新しい名前をつけよう」と声が上がりました。三月の会議で私が提案した「パークゴルフ」が採用されました。「公園

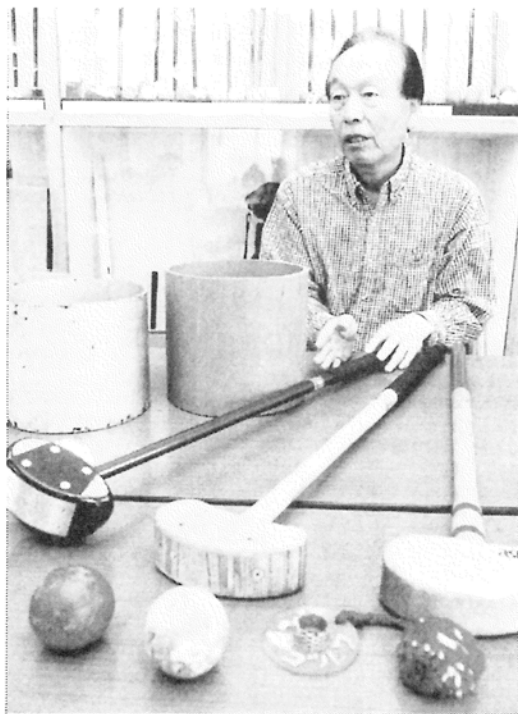
気軽さが魅力 簡潔に

で行うゴルフだから」という単純な発想でしたが、今から考えるとピッタリだったと思います。専用の用具ができるならシンボルマークもほしいという意見が出て、北海道を象徴する鳥のクマゲラをマークにしました。

パークゴルフはゴルフと違って広いスペース

国際パークゴルフ協会理事長

まえはら あつし
前原 懿さん



パークゴルフのスティック第1号（中央）などの用具と私

ースがなくてもできる、さまざまな年代の人が楽しめるスポーツというのが特長で、それは大切にしたい。だからルールも分かりやすく簡素にしました。

たボールを紛失したり、コース外にボールが出るOBなどのペナルティは、複雑にしないで一律二打扱いにしました。コースも九ホール単位として、一ホール百以以内、九ホール合わせて五百以以内としました。ホール数や距離が長いと、体力や技術による個人差が大きくなってしまいます。

あくまで老若男女、誰もが楽しめるスポーツとして普及させたい。記録を重視する競技色は強めたくなかったのです。その後、つつじコースの隣に十八ホールのサーモンコースを造成しました。河川敷を利用した平らで広々としたコースです。起伏のある「つつじ」と趣の違うコースは愛好者に喜ばれました。両コースはこれ以降のパークゴルフ場の基準になったのです。

（聞き手・穴戸透）

私のなかの歴史

パークゴルフ25年 — ④

パークゴルフ発祥の地、十勝管内幕別町から離れて暮らしたことはありません。私は一九三四年(昭和九年)、当時の幕別村で国鉄の駅員だった佐樹夫と妻フジの五男として生まれました。男ばかり五人兄弟の末っ子です。父方の祖父母も一緒に住んでいました。父は三十七年に三十八歳の若さで病死したので、当時三歳だった私に記憶はありません。長兄も私の生まれる前に早く逝きました。母は父の亡き後、家計を担うために働きに出て、町内の種苗所に勤めていました。いつも早朝に家を出て、土曜日でも日曜日もなく働いていました。雨が降ると仕事は休みになりました。家で針仕事などをしたので、私はうれしくて母のそばを離れなかった記憶があります。

子ども時代は年齢が近い子と一緒に集団で遊び、常にグループの方キ

原点

祖父も元鉄道員で、退職後は家にいて趣味で家庭菜園や木彫、木工芸をしていました。戦時中でもあり、とにかく物不足でしたから遊び道具がありません。だから、祖父の大工道具を借りて、野球のバット、ボール、冬はソリなど何でも自分で作りました。

パークゴルフ草創期にティーやホ

道具「ないならつくる」



ールカップなど、原型となった「ラウンドゴルフ」になかった用具は、全部自分たちで作りました。例えば

国際パークゴルフ協会理事長

まえはら あつし
前原 懿さん

現在市販されているティーで、私が作ったものをモデルにした製品もあります。「ないなら自分でつくればいい」という考え方は、子ども時代にもその土台ができたのかもしれない。物のない時代での体験が、用具のみならず新スポーツの発想につながった部分もあったのではないかと思います。

今の子どもたちは大人数で遊ばないし、何をやるに母のフジ(前列中央)と4歳ごろの私(同左)

も事前にマニュアルがある。でも、集団で行動すれば自然に上の子が下の子の面倒を見るようになるし、社交性も養われます。何でも与えられたいのではないのでしょうか。

四四年(昭和十九年)には祖母が病死しました。兄たちは学校を卒業後、家計を助けるために次々と働きに出ました。私が十四歳だった四九年、今度は母が結核で亡くなりました。四十五歳でした。

母は父が亡くなって以来、一家の大黒柱としてずっと働き続けました。が死の数カ月前には病状が悪化し、家で寝たきりになってしまいました。物静かで働き者だった母が「まだ中学生の鎧を残して死んでしまうのは心残りだ」と嘆いていたことを覚えています。母の死を当時は受け入れることができず、時間がたつにつれ悲しみが増していったことを思い出します。

(聞き手・宍戸透)

北海道新聞社 平成19年7月26日付夕刊 第5面より転載

「パークゴルフの里射水」を発信

～ 全国大会、パークゴルフ教室を全市あげて開催 ～

富山県射水市 いみす 樋上 ひがみ 敦士 あつひと さん

大会開催の経緯

富山県射水市は、平成17年11月に新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村の1市3町1村が

合併して誕生した新しい市で、どの旧市町村にもパークゴルフ協会があり、盛んにパークゴルフが行われていました。特に旧小杉町は本州で初めてパークゴルフを導入した町であり、旧下村は2000年富山国体でオープン競技としてパークゴルフ競技が開催された村です。市内に

は「野に、海に、山に」の豊かな自然をいかした、7つのパークゴルフ場があり、「パークゴルフの里 射水」を全国に発信しようとする大会が企画されました。

大会の運営に大切な“ひと”と“つながり”

大会運営を行っていくうえで1番大切なのは“ひと”であり、“つながり”です。この大会に携わることで、多くの人との出会いがあり、新たなネットワークが育ち、大会運営ができたように思います。

射水市パークゴルフ協会、射水市体育指導委員協議会、県外の関係者の方、市内・県内の協力企業の方など、すべての方に“感謝”の気持ちで一杯です。特に射水市パークゴルフ協会から選出された役員の方々には、大会の企画から啓発活動まで、



大会風景

者の方に喜んでいただける大会になったと思います。

”国際”パークゴルフ教室で、幅広い交流を実現

大会内のイベントとして、射水市民国際交流協会と協力し、在住外国人と小学生、パークゴルフ協会員の交流を目的とした教室を開催しました。外国の方も子供たちも楽しい時間の中でふれあいを深めました。「是非、またやりたい」「外国の友達ができたよ」などの声が聞かれました。

次回は あなたも参加を!!

年齢、男女を問わず、多くの人々が交流を楽しむことができます。

パークゴルフというすばらしいスポーツを広く知ってもらい、この大会を市内、県内、県外、外国と幅の広い交流ができる大会にしていきたいと思います。射水市では、今後も「パークゴルフの里 射水」を全国に発信していけるよう第2回、第3回と大会を続けていきますので、是非、射水へお越しください。心より歓迎いたします。



パークゴルフ教室の様子



〈プロフィール〉
富山県派遣スポーツ主事
射水市教育委員会スポーツ課主直
平成17年 IPGAアドバイザー取得

第一回西九州パークゴルフ交流大会開催

みなさんの「パークゴルフへの熱意」に感謝！

西海市パークゴルフ協会(長崎県) 事務局長 今井 栄次さん

私たち 西海市PG協会はー

西海市パークゴルフ協会は、平成18年(NPO)国際パークゴルフ協会の普通会員としてに入会した、知名度の低い小さなクラブです。地元大島パークゴルフ場(18ホール公認コース)でプレーを楽しむ愛好者が集まって協会が立ち上がりました。長崎県が含まれる西九州地区は、パークゴルフ愛好者が少なく、パークゴルフとして、まだ今ひとつ活性化していません。そんな状況の中、大会を企画、開催しようという話を持ち上げました。しかし、今回『第一回西九州パークゴルフ交流大会』



ホームグラウンドの「大島パークゴルフ」(長崎県西海市)

の開催にあたり、いろいろな心配事や問題がありました。

開催に至るまで

心配事は、次々と思いつかびました。

「知名度の少ない大島パークゴルフ場にどれほどの方々が来てくれるか？」

「西九州大会なる大会名でよいだろうか？」

「悪名高いレンガのコースで批判を浴びないだろうか？」

「他所の大会の様にしっかりと楽しい大会となるだろうか？」

このような問題をかかえつつ、大会開催が決まり、問題解決に努力しつつ、なんとか成し遂げたいと動き出したのです。

まずはコースの整備から始めました。これまでは、「パークゴルフは公園でのプレーだ」という趣旨のもとに、レンガの花壇やさつき・つつじ・桜・しいの木、ポルトノ木などが植えられていました。しかし、それらがせつかくのスペースをさえぎり、それ



で難易度を上げ、上級者コースとしていました。そこで悪名高いレンガの花壇は小山にしたり、

さつき・つつじのOBゾーンも整理、ラフもできるだけ短く、フェアウエーも広くしたりして、公認コース更新に伴う指摘事項も改めました。

そのほか、大会運営の方面では、佐賀県の武雄市や白石町のパークゴルフ協会との協力(三者主催)や地元の協賛者も得ることができました。

大会開催にあたっては(NPO)国際PG協会や九州地区PG協会連絡協議会(九連協)の事務局からアドバイスを頂きましたし、九州各地域を代表する立派な方々がたくさん参加していただき叱咤激励を頂きました。大会時には九連協の役員・各地域の協会の会長や役員、指導員、アドバイザーの皆さん方が、楽



〈プロフィール〉

株式会社大島造船所を定年退職後、グランドゴルフや魚釣り、家庭菜園をやっていました。3年前パークゴルフを知り、通いつめているうちにとうとう平成18年4月から大島パークゴルフ場の管理人となりました。趣味はパークゴルフ

しい大会になるよう協力してくれました。

大会を終えて 無事終了に感慨無量

おかげさまで大会関係者やプレーヤーの皆さんの、「パークゴルフへの情熱」と九州各地での交流会を活性化させたいとの熱意で、怪我もなく盛大に無事

開催する事が出来ました。

最後に、「パークゴルフへの飽くなき情熱」と熱意で大島PG場のローカルルールをなくし、コースをきれいに整備し、初めてプレイする方や他所からきた方々にも楽しんでいただけたらに、当ゴルフ場も協会もがんばりたいと思います。大会に参加していた皆さん、後援や協賛していただいた行政・団体・企業・関係者に心からお礼申し上げます。



第1回 西九州PG交流大会 156人 H19.10.25

男子の部			女子の部		
順位	スコア	選手	順位	スコア	選手
1	100	林 俊道 (長崎県大島)	1	101	小川美弥子 (長崎県大島)
2	107	森 奨 (長崎県大島)	2	109	田川 広子 (長崎県大島)
3	107	松尾 良治 (長崎県諫早)	3	113	林 富士子 (長崎県大島)
4	108	水流 英紀 (宮崎県高崎)	4	113	藤野 苗美 (福岡県原稿)
5	109	浜先 克巳 (長崎県大島)	5	114	山崎八重子 (長崎県大島)
6	110	江頭 昭 (佐賀県武雄)	6	115	郡山 照子 (鹿児島県霧島)
7	110	吉田 茂 (長崎県長崎)	7	117	久保アキエ (熊本県長岡)
8	110	吉原 敏次 (福岡県博多の森)	8	118	重久 豊子 (福岡県原稿)
9	111	原田 晃照 (福岡県ししの会)	9	120	上野ツユ子 (宮崎県高崎)
10	113	山崎 正洋 (長崎県大島)	10	120	高野 良子 (熊本県久木野)

パークゴルフが高齢者の健康増進に 多大な効果を実証

～高齢者から圧倒的支援のパークゴルフ！～

今回は、先月の10月20日に開催された第9回日本スポーツ整復療法学会(*)で、われわれの研究グループ(東工大・北教大・久留米高专)が研究発表した『高齢者のライフスタイルと健康に関する研究』3件の中で、パークゴルフに関連した内容についてその概要を報告します。これだけの規模と多岐にわたる内容の調査研究はあまりないのでとても参考になると思われます。



明官先生
みょうかん

① 研究の目的と方法について

この研究は高齢者の望ましいライフスタイルについて検討することが目的で、2005年1～6月にかけて「日常生活における運動の実施状況」に関する30項目のアンケート調査を行ったもので、対象は旭川市内の百寿大学に在学する60歳以上の高齢者1,098名(男320名・女778名)でした。

② パークゴルフに関する調査結果について

① 実施した運動種目

高齢者の過去1年間に実施した運動種目は「パークゴルフ628名(64.0%)」、「散歩499名(50.8%)」、「体操330名(33.6%)」、「ダンス・日本舞踊314名(32.0%)」などで、パークゴルフが断トツに1位で、圧倒的人気で支持されていました。

② 高齢者と運動の効能について

パークゴルフなどの適度な全身運動は全身の活動水準を高め、精神的にも日常生活では経験できない多様な刺激を受けて活性化し、行動面でも積極性が生まれて望ましい効果が得られていました。

③ 運動実施と身体的・精神的・行動的効果について

運動実施経験のある高齢者は「疲労や肩こり」や「不安や緊張しやすさ」が少なく、また「歩行中に躓かない・人と話ができる」ことなどから、運動実践がよりよい身体的・精神的・行動的効果と健康増進に寄与しているものと考えられます。

今度の研究結果からも、パークゴルフは高齢者の健康的なライフスタイルづくりに絶対欠かせないものであるといえそうです。

*「日本スポーツ整復療法学会:The Japanese Society of Sport Sciences and Osteopathic Therapy (略称:JSSPOT)」は、スポーツ医科学および整復療法学に関する学際的研究および情報の交換を行い、その境界領域であるスポーツ整復療法学の構築ならびにその発展を図るための学術団体



Q&A

ルールおしえて 質問 コーナー

本部指導普及部長の

清水 孝悦さん

こんな時はどうなるの？

しゅぞ部長が明快にお答えします！

Q

ある大会のルール説明で、予備のホールカップの蓋の上にボールがのった場合はクラブヘッド1つ分を移動して良い(救済)とありました。これはローカルルールでしょうか？



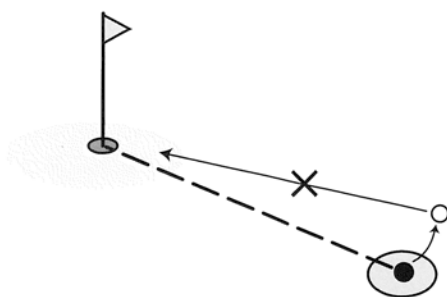
A

予備のカップの蓋上にあるボールの救済というルールは、パークゴルフ規則にありません。ローカルルールにもしない方が良いでしょう。ローカルルールとして覚えてしまうと全国大会等の競技会に出場してグリーン上で予備カップの蓋の上のボールを勝手に救済の処置をした場合、必ずペナルティを科せられます。常日頃から正規のルールでプレーをして競技会等でつまらないペナルティを取られないようにすべきと思います。

予備のカップの蓋の上のボールは、パークゴルフ規則に照らし合わせると、そのまま打つか、打てる状態にない場合は動かさない障害物となりアンプレヤブルを宣言することになります。

ご質問のような場合は、カップの蓋を修正して救済を必要としない状況にすることが先決ではないでしょうか。予備の蓋のレベルを芝のレベルと同じにするには、「カップの縁と蓋の間にパッキンをいれる」或いは「応急処置として砂を蓋の上にかけてレベルを合わせる」という方法もありますので参考にしてください。

コース管理を丁寧に行い、特別なルールを作らないようにしてもらいたいと思います。



パークゴルフの楽しさが びよ、びよと伝わる

愛好者エッセイより

秋田わか杉国体デモスポ 『パークゴルフ大会』に 参加して

本荘PG協会(秋田県)

二木 鉄夫さん

“君のハートよ、位置につけ”を合言葉に、秋田わか杉国体がいよいよ9月29日から10月9日まで全県下で繰り広げられるその前哨戦ともいえるべく、デモンストラーションとしてのスポーツ行事17種目が9月2日全県一斉に開催されました。私達が愛好するパークゴルフもその一端として、由利本荘市八塩PG場を会場に開催されました。いよいよ今日が本番である、心配された天気もなんとか大丈夫のようだ。本荘PG協会の予選会(7月8日)から今日まで約2カ月間妻と共に練習に励んできたつもりだ。何とか自分達が納得するパークをやりたいう一念である。会場も整備がすすみ、日一日と大会の雰囲気盛り上がる中での練習も気合が入る毎日であった。当日早朝から全県各地から各協会の予選会を通過した愛好者が集まって来る、仲間同志で気持ちの良い朝のあいさつ、

会話がいたる所で交わされる中で大会に臨む決意が仲間の顔から読み取れる、全員の健闘を祈る朝の風景である。

開会式の雰囲気も最高に盛り上がる、関係者によって整備された屋外ステージ前では、マリゴールドやサルビア等の花で一杯のプランターが所狭しと飾り付けられ今までのない華やかな会場演出である。東由利中学校のブラバンド部員が奏でる大会マーチに乗り、参加300名の選手が協会毎にプラカード嬢を先頭に入場行進する。ステージには由利本荘市長さんをはじめ関係者が居並び中を私達本荘PG協会員選手団一同(36名)は右手を高く掲げ行進する、ここに参加出来たことを喜び一杯に表しながら、私はこの一瞬ここでこうして妻と共に参加できたことを考え、胸の中に熱いものがこみ上げるのを感じながらの行進は感激の一語でした。参加全選手の整列を終え、関係各位のあいさつ、そして地元市長さんの歓迎の言葉、いつもなら早くプレーをと思うところであるが、今日ばかりはその感じもなく感傷にひたつたひとときでした。

私の第一打は「きざくろコース」からの14組約50分間の待ち時間を経て、いよいよ第一打ホールを無事に乗りきれるか、第一打の成否が今日の出来、不出来と思いがら…。そしてなんとかうまく行った、この調子でと自分に言い聞かせ第2、第3と進む、なんとかなりそうだが、いや最後までこの張りつめた気持ちを維持出来るか…維持すべく自分で自分を励ます。きざくろコース九ホールを終わって28点まずはなんとか無事と思いつつ、次のコースへ、でも待ち時間が長く調子の乱れが心配されたが第2コースもなんとかと言うよりもこは自分の思った以上に好調が続く本当に自分の納得出来るパークである。終わってやまぶきコース22点今までの練習のスコアよりも良く、「ヨシ」とますます気合が入る。そして第3、第4コースと自分で納得の出来るプレーで合計スコア101点、第4位で終了することが出来た。妻も113点でなかなか入賞の目があるとのこと、二人揃って入賞となれば最高と思いつつ閉会式へ。300名の参加者の前で私は4位、妻は7位で2人揃っての入賞となり、本当に幸せな1日であった。終わって妻が「良い真土のみやげ」が出来たの一言には笑って良いやら、おこつて良いやら…まだまだ早い、これから



▲最良の日に、最高の笑顔が並んだ

▲堂々たる行進

してこれから2人でいつまでも出来るパークゴルフにめぐり合い、仲間と共に日々良い汗を流すことの出来ることに感謝しながら帰路についた次第です。今日のこの日のために準備にがんばって下さった関係者及び主催された市の方々、連合会の方々、又日常支えてくれる仲間の皆さんに「ありがとう」と感謝した今日は私たちにとって最良の日でした。

初心にかえて、パークゴルフを楽しむために コースでよく聞く言葉 その①

『アンプレヤブル』とは？

コースのどこでも、ボールを打つことが出来ない状況になった時、自分のボールをアンプレヤブルとして同伴者に宣言(伝える)することが出来ます。

アンプレヤブルと決めた場合は、ペナルティを付加して、そのボールを2クラブ以内で、カップに近づかないところにブレースしなければなりません。

ただし、2クラブでもなおブレースする場所がない場合は、そのブレース毎にペナルティを付加し、カップに近づかないで、ブレース出来るもっとも近い位置にブレースすることが出来ます。つまり、2クラブごとにペナルティを付加しなければならぬということです。

PG解説書「ザ・パークゴルフ」(IPGA発行)より引用

エチケット委員会設置で マナー向上中

奈良県 高橋 四六さん

私の勤務する奈良ニッタの森コースでは、規程を忠実に守り、保守・点検或いはコースコンディショニングの維持・向上に懸命です。研修会では協会の指導員の方と問題点など多くの情報交換をしています。中でも一部のプレーヤーのマナーの悪さが指摘されました。啞えタバコでのプレー、ペットボトルの持ち歩き或いはポイ捨て、遅いプレーなど問題がありました。

一昨年には当社関係プレイヤー（OBも含む）8名と社外プレイヤー5名の13名からなるエチケット委員会を設置しました。マナーや安全面の向上、ルールの指導、自然保護、コースのあり方研究或いは周辺の地域の方たちへの配慮などが目的です。定期的な勉強会や情報交換で委員の質の向上や問題点の抽出と対策など推進しました。委員は全員黄色い帽子を着用、帽子にはエチケット委員と刺繍し誰からも分かるようにしました。

約2年が経過しますがお蔭様でマナーの悪さはすっかり影を潜めました。スタートの前には安全面での帽子の着用の徹底（貸し出し用として常に20個の帽子

は準備）や先月からAED器も設置し、不意の事故に備えています。

コースには複数の指導員・アドバイザーが勤務しており、初心者の方には付き添ってコースのご案内はもとよりマナーやルールなどOJTでの指導を行っています。また、常連者でもマナーなどお互いが注意し合っています。

当PG場のモットーは、安全で快適なプレー環境の提供です。同時に自然保護や地域の方たちへの配慮です。パークゴルフがメジャーなスポーツとして更に発展する為には、今まで以上の努力が不可欠と考えています。



*今年オープン10周年を迎え、記念イベントを開催、5月27日にはオープンしてちょうど20万人を記録。20万人目の幸運の方には記念品を差し上げて祝いました。

菊地俊幸氏の パークゴルフへの想いと 葬儀の御礼

去る9月24日、わが胆振連合会事務局長菊地俊幸が57歳という若さで亡くなられ、連合会としても大変な事と痛感しております。

彼はパークゴルフ誕生初期から真剣に取り組み、パークゴルフを愛し、普及発展に努められ胆振連合会発足に尽力され現在に至っております。来年行われますJALカップ全日本選手権大会を行うことを楽しみにしており準備を進めようとしていたところ亡くなられ、大変心残りであったことと思います。彼の思いを受け継ぎ胆振連合会総力で行う所存です。

菊地俊幸氏の葬儀には全道各地のパークゴルフ仲間が駆けつけご焼香を賜りました事心より厚く御礼申し上げます。

尚、彼を偲び11月10日ミスターパークメモリアル大会を開催いたします。今までお付き合いいただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

北海道胆振地区PG協会連合会

会長 野澤 武夫



元気にプレー(上写真)、「お元気で賞」を受賞される(下写真)小柳さん

北海道函館市から 頑張る97歳 頑張れ97歳

市民健康まつりパークゴルフ大会開催

残暑厳しく真夏のような10月7日、函館市では市民健康まつりパークゴルフ大会が開催されました。

今年のテーマは投票により

《みんなの力を合わせ 健康な街 函館を》

サブテーマ《応援します！あなたの健康づくり》に決定しました。

どこかに病気をもちながらも健康に勝る幸せはないというような約200名の参加者はプレーを楽しみ賑わいました。

最高齢97歳で参加され頑張っている小柳重夫さん他4名に、特別賞として《元気で賞》が送られました。小柳さんの健康の秘訣は少量でも好き嫌いなく何でも食べること、パークゴルフや民謡をカラオケで楽しむことだそうです。健康は生活の基本であり、心身共に健やかにすごす小柳さんにエールを送り、少しでも近づきたいものです。

北海道道南PG協会連合会地域特派員 前田 恵子さん

石川県から

第2回「パークの日」フェスティバル — 盛大に実施 —

8月9日、加賀市中央公園・運動広場
 「小学生体験パークゴルフ」…30名、「パークゴルフ初心者講習会」…106名
 振舞「大餅つき大会」…123名、「愛好者パークゴルフ大会」…136名 計395名
 真夏の炎天下での開催となりましたが、できるだけ木陰を利用、参加者も楽しい一日が過
 ぎせたとの声が多く聞かれました。

石川県PG協会連合会 I PGAニュース地域特派員 山下 富夫さんより



オープニング「子供太鼓」



「オープンセレモニー」に参加された会員



振舞「大餅つき大会」

宮城県から

地元マスコミが パークゴルフを巻頭に

河北新報、大崎タイムズ等でパークゴルフの
 記事がたびたび掲載されますが、今回は特に大
 きく取り上げてあります。

宮城県PG協会連合会 会長

榎山 栄さんより



北海道石狩地区から

初心者講習会の様子が インターネットで見られます



石狩市にインターネットTV局ができ、パークゴルフの初
 心者教室が番組の一つとして入っています。この番組は全国（も
 ちろん世界）のどこからでも見る事ができます。講習会は
 PG場のチケットを購入することからコースにででのプレー
 まで、動画に加え受講者の声やカップインの音も聞くことが
 できます。

この石狩市の地域発映像情報サイト「ERI'S (えりす)」は、
<http://www.i-eris.tv/>
 「石狩市のホームページ」右欄からのアクセスも可能。
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/>

石狩PG協会より

北海道上川地区から

健康づくりをめざして 「第1回 B&G財団会長杯争奪全国PGオープン大会」

鷹栖町（北海道上川郡）では、ブルーアンドグリーンランド財団（B & G財団）と共催で、平
 成19年8月11日、12日の2日間、高齢者の健康づくりを目指して現在北海道に36ヶ所ある
 B & G施設の組織を中心に近隣市町村に呼びかけ第1回ブルーアンドグリーンランド財団会
 長杯争奪全国パークゴルフオープン大会を開催しました。

この大会のコースは、平成17年にJALカップ全日本選手権大会の行われた鷹栖町の丸山、セ
 ントの両コースであり、今回の大会では4部門（男子A64才以下、男子B65才以上、女子A64
 才以下、女子B65才以上）で2日間にわたり150名の選手が参加して熱戦が展開されました。

さすが全日本の大会を行ったコースだけあって、芝の状態も良く選手は気持ちよくプレー
 が出来、よいスコアが出たようです。

今回は第1回目であり、準備期間も短く皆さんに十分知られていなかったため、参加者が
 少なかったようですが、主催者側では今後もPRにつとめ全国規模の大会に広げていきたい
 と張り切っており、選手のみなさんには注目の大会になりそうです。

【大会結果】〔男子Aの部〕①出合勇治 190②狩野均 197③側順一 198 〔男子Bの部〕①伊東
 時晴 197②鈴木弘充 198③渡辺末人 198 〔女子Aの部〕①佐々木静枝 209②後藤百合子
 214③田村知子 215 〔女子Bの部〕①橋本ヒデ子 206②成田百合子 213③小川ミヨ子 213

* A: 64歳以下、B: 65歳以上

北海道上川地区PG協会連合会 I PGAニュース地域特派員 鷲見 勲さん



プレー風景



総合優勝者

加盟団体のお知らせ

【入会団体】

《普通会员》

登録番号 **712** 北上市PG協会(岩手県)

登録番号 **715** 直方市PG協会(福岡県)

登録番号 **716** 四国中央市PG協会(愛媛県)

《コース会員》

コース情報①コース名②ホール数③コース所在地

④問い合わせ先名または電話番号

登録番号 **711** 道都総合事業協同組合(北海道後志管内)

①ワインの丘PG場(仮称・H20開設予定)②27H③北海道小樽市④☎0134-27-7112

登録番号 **713** 青森県十和田市(青森県)

①高森山PG場(公認コース申請中)②36H③青森県十和田市④市建設部公園緑地課☎0176-23-5111

①八甲田パノラマPG場(公認コースNo.197)②36H③青森県十和田市④PG場☎0176-74-2277

《コース会員》

登録番号 **714** 西都市(宮崎県)

①西都市清水台PG場(公認コース申請中)②36H③宮崎県西都市④市教委スポーツ振興課☎0983-43-3478

登録番号 **717** (有)プラムパーク(山形県)

①南陽グリーンヒルPG場(公認コース申請中)②18H③山形県南陽市④PG場☎0238-47-5835

●会 員
《正 会 員》 特別会員 33連合会
普通会員 399団体
《コース会員》 143
《賛助会員》 68

●公認コース/267コース

平成19年10月20日現在

◇平成19年度ブロック会議開催

(掲載は開催日順)

【北海道宗谷地区】

○日 時 8月28日(火)

○ 稚内グランドホテル 会議室

○出席者数 14人

【北海道才ホーツク地区】

○日 時 9月28日(金)

○ 北見モイワスポーツワールド研修室

○出席者数 40人

【北海道道央地区】

○日 時 10月3日(水)

○ 千歳市総合福祉センター 会議室

○出席者数 8人

【北海道石狩地区】

○日 時 10月4日(木)

○ 江別市民体育館 会議室

○出席者数 16人

【北海道釧路地区】

○日 時 10月20日(土)

○ ホテルまつや 会議室

○出席者数 41人

【札幌地区】

○日 時 10月23日(火)

○ 札幌サンプラザホテル 会議室

○出席者数 28人

*記載の出席者数は、連合会等関係者数です。

IPGAニュースは、IPGA加盟団体(特別会員・普通会员・コース会員・賛助会員)、全国の指導員、公認コースの事務取扱者、連合会所属IPGAニュース地域特派員、報道機関や関係官公庁の関係機関などに毎号無料配付をしています。また定期購読者を募り送っています。配付先の訂正等がありましたら、下記事務局までお問合せ下さい。

IPGAニュースの問い合わせは

〒089-0616

北海道中川郡幕別町宝町53-1

TEL 0155-54-2260

FAX 0155-54-2204

(NPO)国際パークゴルフ協会まで

E-mail: parkgolf@netbeet.ne.jp

URL http://www.ipga.jp/

編・集・後・記

出来上がった紙面を見ていて、東北からのニュースやお便りが多いことに気がつきました。コース・愛好者が増え、東北6県に連合会があり統括した「東北PG連盟」という組織ができています。その組織体制は、PG協会にあってモデルケースとなりうるものと感じます。「足場をしっかり」が普及のけん引力になっていますね。

JALで行く! 沖縄・宮古島パークゴルフツアー!! [協賛: JAL]

沖縄の1月中旬、日中の平均気温は19℃!!

第9回道新スポーツ杯 全国ふれあい・やんばる パークゴルフ大会& 宮古島東急リゾート杯大会ツアー

[使用コース: くにがみ鏡地パークゴルフ場: 18H・くいなパークゴルフ場: 36H]

宮古島東急リゾート杯大会ツアー

[使用コース: 東急リゾートパークゴルフ場: 18H]



宮古島東急リゾートパークゴルフ場



宮古島東急リゾート



JALプライベートリゾートオクマ



くにがみ鏡地パークゴルフ場 (ナイター設備有)



JALカップ優勝者

第9回道新スポーツ杯 全国ふれあい・やんばるパークゴルフ大会

主催/国頭村・道新スポーツ・(NPO)国際パークゴルフ協会
主管/沖縄県パークゴルフ協会連合会・国頭村パークゴルフ協会

IPGA ニュース72号

平成19年11月1日発行

(隔月1回1日発行)

発行人/ (NPO) 国際パークゴルフ協会
定価 1部 1000円 (税込価格)

- 旅行期間: 平成20年1月18日(金)⇒22日(火) **4泊5日**
- 旅行代金: **千歳発着 149,000円**
(オクマ4名様1室、宮古島2~3名様1室)
- 東京発着 157,000円**
(オクマ4名様1室、宮古島2~3名様1室)
- 全行程食事付 (朝4回、昼5回、夜4回) プレー代、大会参加料、保険料含む
沖縄4名様以上1室、宮古島2名様1室料金

- 申込締切: 12月27日(木)
- 参加募集人員: 60名
(最少催行人員40名)
※但し定員になり次第、締め切らせていただきます。
お問い合わせはお早めをお願いいたします。
- 利用ホテル: JALプライベートリゾートオクマ 宮古島東急リゾート
- 添乗員同行

2007 JALカップ全日本
パークゴルフ選手権
男女優勝者、
沖縄・宮古島に同行予定!

日次	期日	行程 / スケジュール	食事		
			朝	昼	夕
1日目	2008年 1月18日(金)	新千歳空港 → 9:00頃航空機 → 羽田空港 (10:30頃着) → 11:30頃航空機 → 那覇空港 (14:30頃着) → 貸切バス → ホテル (17:00頃着) → 那覇空港 → 貸切バス → ホテル (19:30頃着) → 那覇空港	×	弁当	ホテル
2日目	1月19日(土)	●全国ふれあい・やんばるパークゴルフ大会(1日目) (鏡地または、くいなパークゴルフ場) ※夜: 交流会 ＜オクマリゾート泊＞	ホテル	○	ホテル
3日目	1月20日(日)	●全国ふれあい・やんばるパークゴルフ大会(2日目) (鏡地または、くいなパークゴルフ場) ※表彰式後、貸切バスにて那覇空港へ 大会会場 → 貸切バス → 那覇空港 (17:00頃着) → 18:00頃航空機 → 宮古島空港 (19:00頃着) → 貸切バス → ホテル (19:30頃着) ＜宮古島東急リゾート泊＞	ホテル	○	ホテル
4日目	1月21日(月)	※午前: 練習ラウンド ●宮古島東急リゾート大会 ※夜: 表彰式 (バーベキューパーティー) ＜宮古島東急リゾート泊＞	ホテル	○	ホテル
5日目	1月22日(火)	※出発まで自由行動 (フリープレーまたは島内観光) 宮古島空港 → 12:30頃航空機 → 那覇空港 (13:30頃着) → 15:30頃航空機 → 羽田空港 (17:30頃着) → 18:00頃航空機 → 新千歳空港 (19:30頃着)	ホテル	弁当	×

※上記日程は、天候、交通状況、現地諸事情により変更となる場合がございますのでご了承ください。
●ツアー企画主催/道新スポーツ・パークゴルフビュー ●後援/(NPO)国際パークゴルフ協会 ●ツアー協賛/JAL・JALプライベートリゾートオクマ・宮古島東急リゾート ●ツアー旅行企画・実施/日本通運(株)札幌旅行支店

お問い合わせ・お申込先

旅行企画・実施 **日通旅行** 日本通運(株) 札幌旅行支店

国土交通大臣登録旅行業第19号(社)日本旅行業協会正会員

TEL.011-222-5422

札幌市中央区北3条西2丁目ライラックビル
月～金曜日9:00～18:00 担当/初瀬尾・七条